

【 認知症と共に生きる社会の構築 】

(知事コメント)

- 認知症は誰にでも起こりうることであり、買い物や通院、家事などの日常生活への支援や、認知症の御本人の社会生活を支援していくことが重要です。
- 県では、認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」が各市町村で整備されるよう支援してまいります。
- 私も認知症の介護サービス、ケアラーの方々とお話をさせていただきますが、介護サービスの基盤整備や介護人材の確保に取り組むとともに、市町村が地域のネットワークを更に強化できるよう、先進事例の共有を行うなど、引き続き、市町村における取組を支援してまいります。